

STANDARD

Where there's a will, there's a way.

59

台風

敬学会賞第

第一小学校五年四組

本間英一

九回入選作

NOTE BOOK

目

台風の研究

目次

台風というにはとあこりの名前	3
台風の発生するしきと場所	6
台風のできるわけ	8
台風のしんるい	11
台風の構造	12
台風眼	16
台風の予報	19
豆台風	21
台風の進路	23
台風の被害	25
まとめ	27

動機

毎年台風が日本に上陸すると各地に大きな被害が出るので、その進路や発生するわけ台風のこうそつやその名前などいろいろなことをしらべたくなったので台風の研究をやった。

北太平洋海域に発生する熱帯性低気圧の 名前

	第一列	第二列	第三列	第四列
A	アレシ	アニダ	エイミ	アグネス
B	ベティ	ビリー	バフス	ベス
C	コラ	クララ	シャロツ	カルナン
D	ドリス	ダット	クイナ	デラ
E	エルシー	エレン	エマ	イレイン
F	フロシー	フラン	フリダ	フェイ
G	グレイス	ジョーシア	ギルダ	グロリア
H	ヘレン	オーフ	ハリエツ	ヘスター
I	アイダー	アイリス	アイウ	アーマ
J	ジーン	ジョーン	ジーン	ジューテ
K	キャシ	ケイト	キャレン	キット
L	ローナ	ルイス	ロイヌ	ローラ
M	ミセイサ	マージ	メカリ	マリー
N	ナンシ	ノラ	ノチ	ネリイ
O	オルガ	オラ	オリウ	オメリア
P	ピティ	パット	ホリィ	パトリシア
Q	ルビイ	ルース	ローズ	リナ
R	サリイ	サラ	シャリー	リファ
S	ティルグ	セルマ	トリックス	テレサ
T	ウエイレット	ウイラ	ウエ	ウエイオラ
U	ウイルダ	ワンダ	ウイルマ	ウニー

とくべつに死前のついた台風の表

名称	年月日	記事
新高台風	大正11年8月26日	カムチャカ沿岸のセツルヤで軍艦新高を ^し ずめた。
沖縄台風	大正13年8月	東支那海を往復して沖縄に二度も ^は う風雨を起した。
屋島丸台風	昭和8年10月20日	瀬戸内海須磨沖で別府航路の屋島丸を ^し んぷく沈没させた。
室戸台風	昭和9年9月21日	室戸岬に上陸1684.0 ^{mm} という最低気圧を記録したのち関西一円に大風水害をもたらした。
迷走台風	日没年9月23~25日	沖縄から北東にす ^ま みのち北西向きをカス豊後水道にはいり、た ^た び北東に進路をカス
枕崎台風	昭和20年9月17日	九州枕崎に上陸1687.5 ^{mm} という最低気圧を記録し九州・中国地方に大被害をた ^ら した。
阿根台風	昭和20年10月10日	九州阿久根に上陸1722.8 ^{mm} という最低気圧を

記録し九州地方に大被害をもたらした。

台風ということばのつくりと名前

台風という学術用語をは^らわてつ^くったのはもと中央気象台長の岡田武松博士で風台という字が英語のタイフーンのひびきとにており、そのうえ台湾におお^い風といういみにもつ^くるので^し台風としたということです。いまでは漢字にせいけんかきまり、かんたん^に台風とかくことになりました。

むかし^の台風のなかにもとくべつなま^のについているものがあります。たとえばとくにおお^い災害をおこした室戸台風や枕崎台風などはその上陸地点のなかをか^らふせ^ては^なれ、カムチャカ沿岸で軍艦新高をし^ずめた新高台風は船名をか^らふせ^ては^なれまた東支那海をい^ったりきたりして沖縄に二度もあら^わおこした台風や異常進路をと^{って}いくさ^かや^りら

なくなり予報者をあわせた台風で沖縄台風
迷走台風などと呼ばれている。

450 W2
4ページ 5ページ

台風の発生するじきと場所

昔内南洋といったカロリン、マリアナ群島の近海で
す。最近三十年かに発生していろいろ台風は
発達した熱帯性低気圧の発生位置をしめた
附図はこのことをあきらかにしております。また、
べつの図におなじ期間中の台風の発生回数
の月平均をのせました。これによる台風は夏から秋
にかけての4月(7.8.9.10月)にせんたいの約8割が
発生しているとがわかる。

フィリピン北部から南東にはリ、ニューブリ
テン島の北東径15度、北緯2度3.5度から赤道
にそい東にのびる線をさかいとして北東がわでは
北東の風、南西がわでは南西の風がふいてわ

ます。この北東の風は北太平洋の中緯度
(およそ北緯15度から45度位のあいだ)にある高気圧から

赤道低圧部にふきこむきまつた風で北東貿易風とい
ます。これにたいして南西の風は南太平洋の南東貿易風が赤
道をふきこすときに、地球の自転のえいきょうで南西にむき
をかえたものと、インド洋の高気圧からアジア大陸の低圧
部にふきこむ南西季節風の一部分とがありすが、ともに
南西季節風といわれいます。

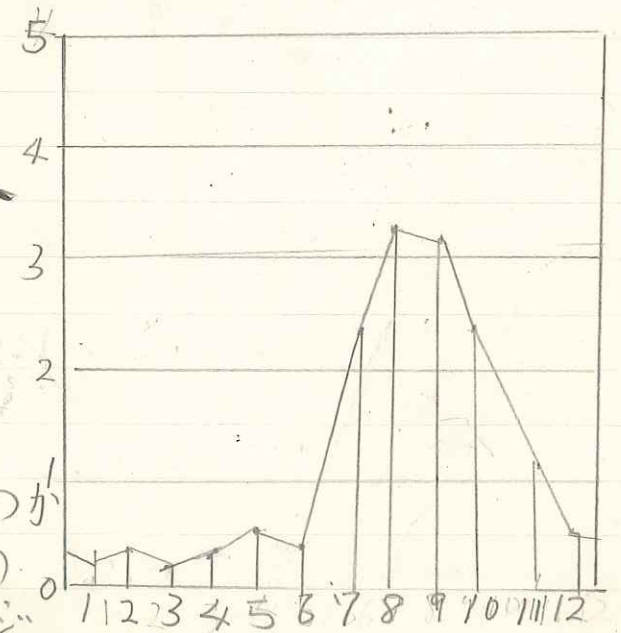
北東貿易風と南西季節風とのようにつるさかい目
を赤道前線といつて台風の発生にたいせつなやわ
りをしています

月例台風発生回数
(30年平均)

発生回数

さいきん30年間に発生した台風のか
く月別の平均発生回数をしめたもの

450 W2 6~7ページ



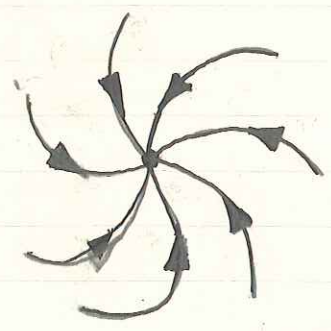
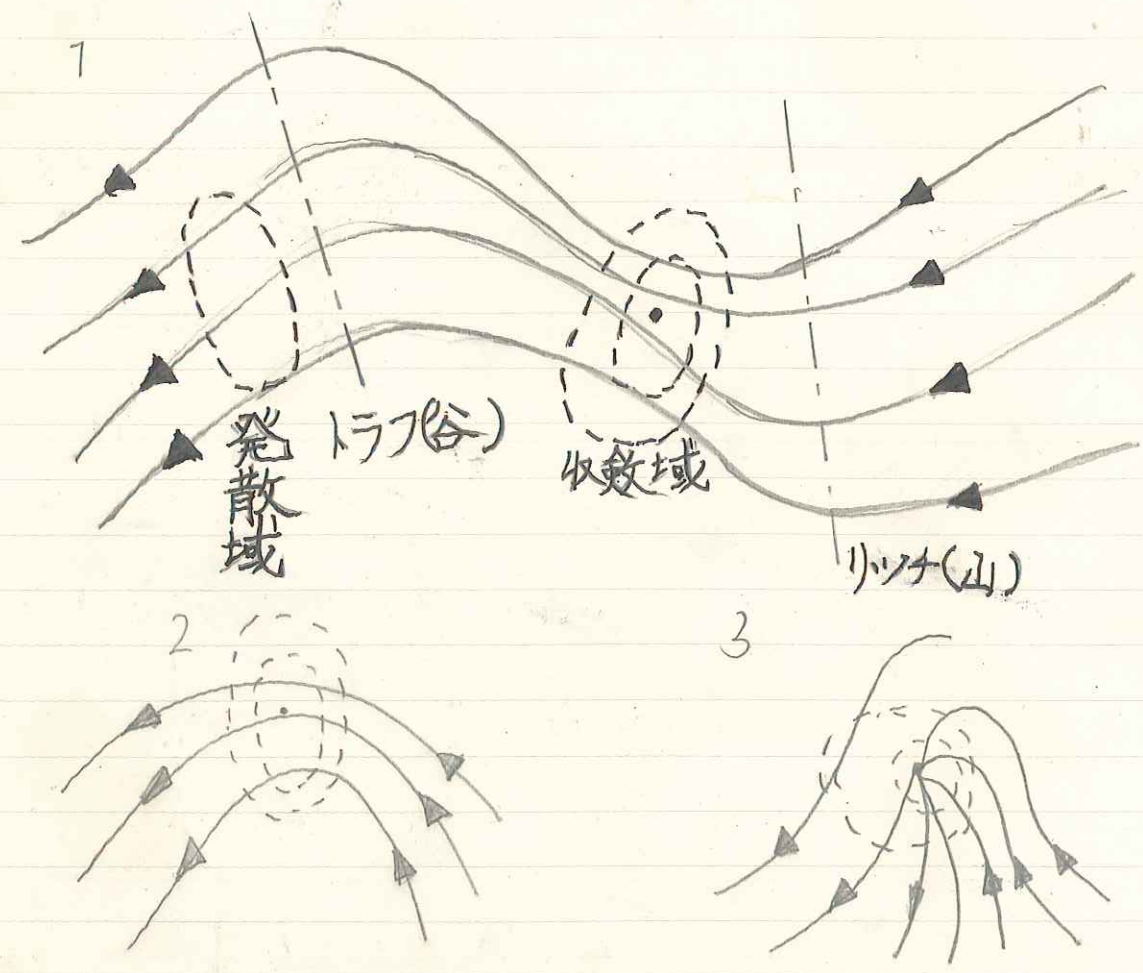
台風のできるわけ

熱帯地方の空気が熱帯性低気圧のできやすいようにあります。南の海のうえで太陽が強い光で照りつけており、海面からは水蒸気がたくさん蒸発しています。水を熱で蒸発させるにはたくさんの熱の量がひつようです。熱帯地方の海上の空気は、ただ太陽に照らされて温度が高いだけでなく、ずっとたかいところまで水蒸気をいっぱいふくんでいるのでそれは、その空気のなかには、太陽からねつのエネルギーを水蒸気のかたちで海面からずっとたかいところまでのくうかんにたくさんため込んでいることがわかる。このはんだいなねつのエネルギーはいつかはなにかのきっかけで上昇気流ができると運動エネルギーにかわって、はげしいうずまきになることがかんがえられるこのようにして熱

帯の海上では、つよいほう風が吹く可能性があります。日本のちかくの中緯度地方ではてんきは西から東にうつりかわります。上空で西風が吹いているからこの西風はいつもま西からふくのではなくて北がかたたり南がかたたりしてふきますから、おなじ方向から風がふくいきはちょうど皮のように西から東へ移動します。これを偏西風の波動といいます。これとまったくおなじように赤道地方の上空には偏西風の波動だいたい東の方向からふいてくる風の中に波動があって、てんきは東から西にかわる。

この偏東風の波動の北につきでてまかっただんを谷(トラフ)といい南につきでてまかっただんを山(リッジ)といいます。この谷(トラフ)の後面すなわち東側の上空では空気のながれがあつまっているところがあり波動が西にすすむにつれて、だんだんにあんていかうしなわちちょうどいそ波がくずれるように波動がうずまき

にかわるというのです。これは上空のことですが、地上の等圧線がまだとしたかたちにならないうちに上空はうすまきが発生したんだん地上の空気を上昇させ気圧のひくいところがちょうどしようこのようになり底がおりてきて地上の低気圧となるとかんがえるわけです



1~4は
偏乗風の波かうすまきにかわる順

序をしめたもの

波が西の方にすすむにつれて谷

のうしろにある収斂域(気流があつまる区域)の中心はだんだん前にすすんできて谷のいたたきになちかづく。それがやがて波の形をしたいたたきのところから前にでてうすまきになる。
450w a 8~11ページ

台風のしるい

北半球の夏から秋にかけては、この前線帯の北にあり、この期間中に前線がうよくでてくるところは、北太平洋西部のほか、西インド諸島の近海やインド洋のペルガ湾、アラビア海などがあります。これらの地域にはやはり熱帯性低気圧が発生し、そのいちじるしいものはそれ

それ ハリケーン、サイクロンなどと呼ばれ、台風とおなじ世いのものです。

冬から春にかけては、この赤道前線は南半球にうつりますから、熱帯性低気圧の発生地も南半球となります。北半球のはあいとおなじで、赤道前線のどこでも発生するのではなくて発生する地域はまっています。それは南太平洋西部 インド洋西部 マダガスカル島東方 洋上などで前者はウリウリスまたはハリケーン 後者はハリケーンと呼ばれている。

450W 212ページ

台風の構造

台風には中心があってそこでは気圧がいちばん低くなっています。中心からはなれるにつれて気圧はたんだんたかくなります。いかえれば、外側から中心にむかって気圧かたむいているということができまう。この気圧のかたむきを気圧傾度といい気圧傾度がなくなる

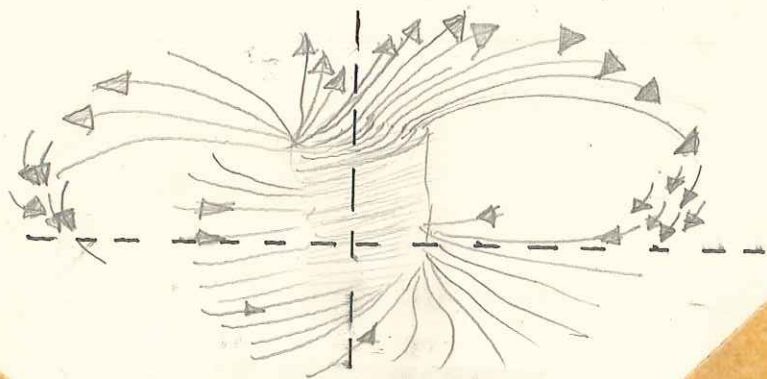
ところまでがその台風のおおよそのはんいです。風は気圧傾度に比例してふきますから台風の中にちかづくにつれて風はますますよくふきます。ですから中心の気圧の高低は台風の強弱をしめす一つのめやすになります。中心にふきこむ気流は地球の自転のいきょうをうけて左まわりのうづまきとなりまが、中心からいくらかはなれたところまでしかふきこむことができません。そのけんかいをなす線は中心から半径約20キロくらいの円周上になります。しかもこの限界線のすぐ外側が風のもともないところでここにうずまきながらあつまった空気のながれはゆきはじめがないから上昇気流となりあつい雲ができて、つよい雨がふってあります。うずまきながらあつまってくる気流の限界の内側では中心にちかづくにしたがって風速はへり中心では無風になっています。強い台風ではこのほとんど無風状態のところは雲がときれてい

14 15

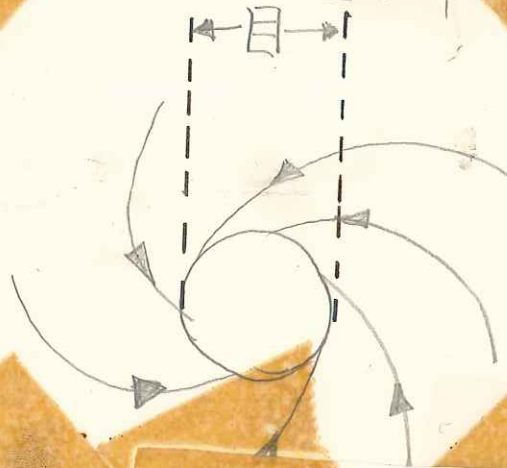
す。これを台風「の眼」といいます。中心のきんににうずま
なからあつまる気流の限界線の内側を台風「の内
域」、外側を外域ということがあります。附図に台風
を台風を立体的にみた構造を模型的にしました。この図ではよこにくでたてのたかさをひょうに
かくだしてかいてあります。

台風の構造 (中心附近の様子)

台風のうずまきのも式図



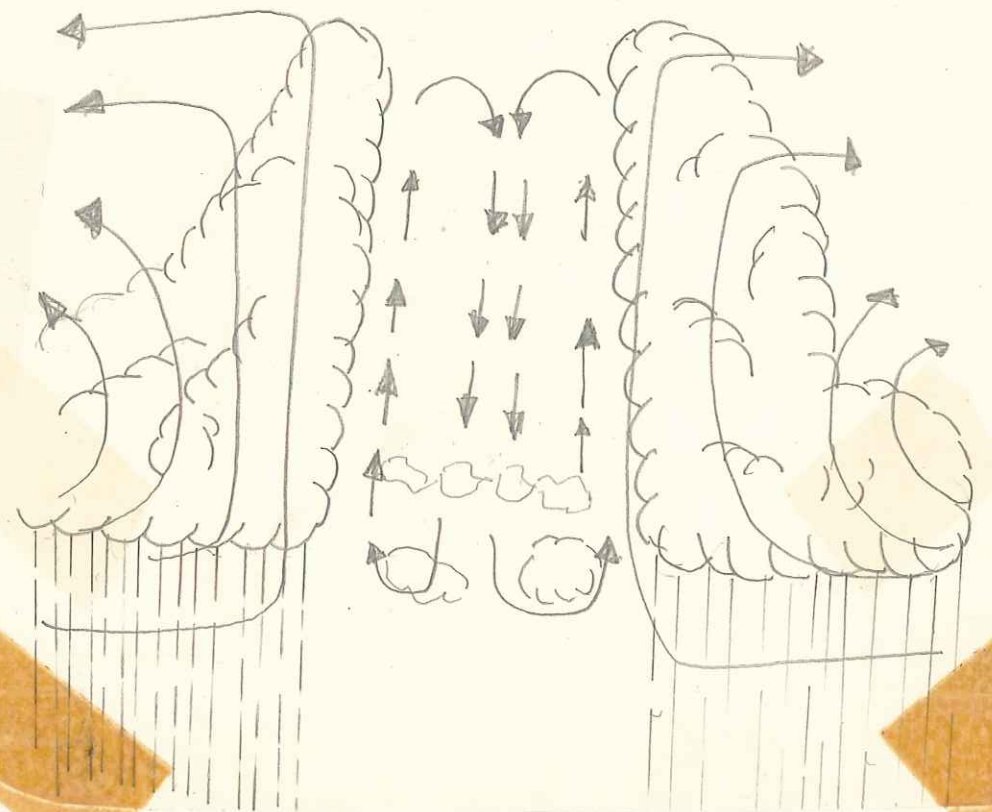
水平気流分布



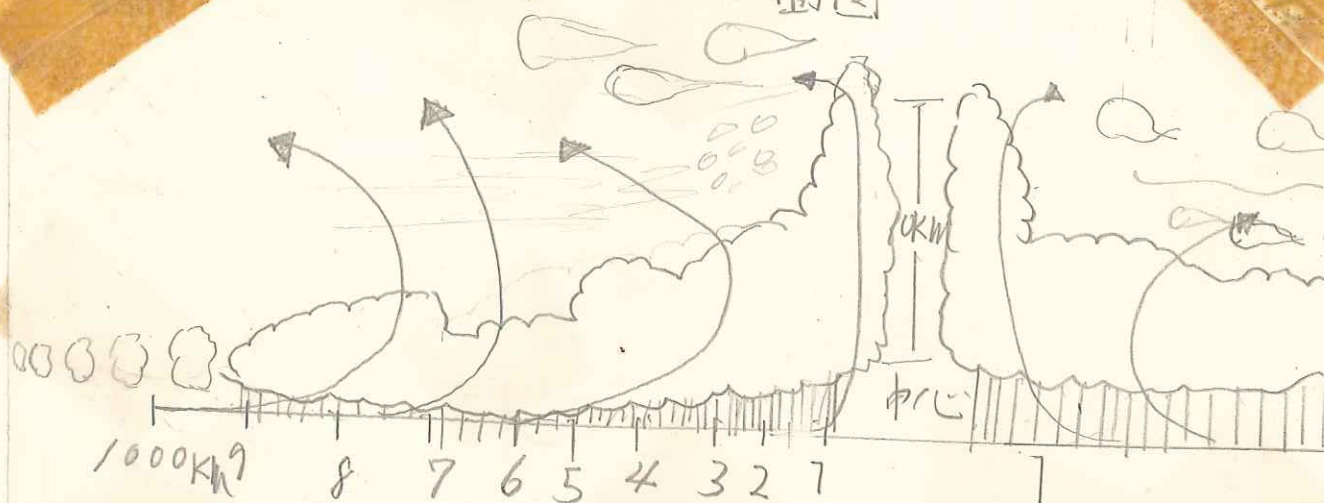
風速分布



雲と気流の分布



台風断面図



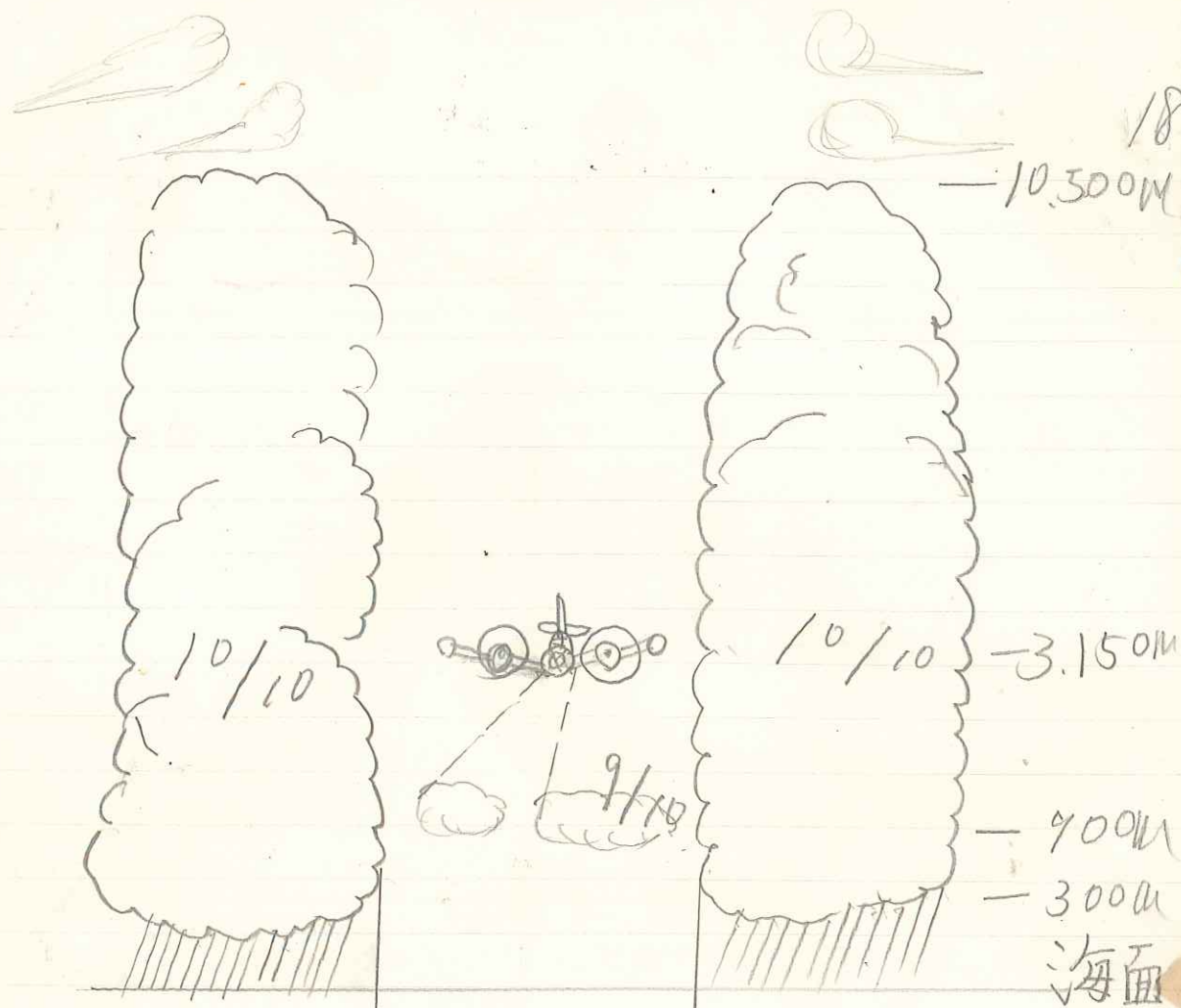
450 W 2 P 15

台風眼

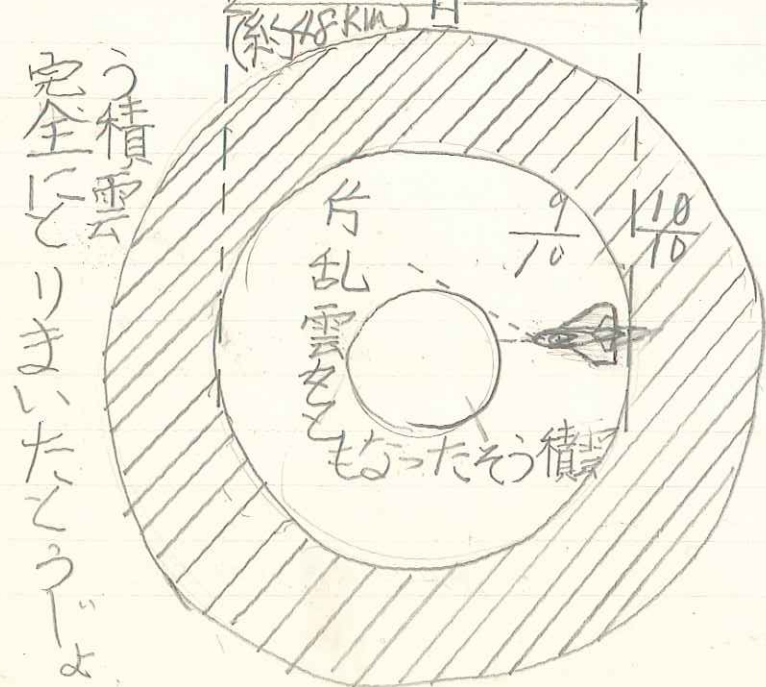
内域の空気の中心ちかくにとしこめられ
たまま移動します。内域の外側の空気
はさらにその外域にはけいし上昇気流
にひきずられてやはり上昇しますので、そのお
きないとして中心のごくちかくでは下降気流

16 157
かしょうします。したがって、この下降気流のふら
んはとくに雲がすくなく、よく発達した台風では
ひるならば青空よるならば星空がみえられることがありま
す。これを台風眼といいます。台風の内域の直径は台風
が陸地に上陸するとちいさくなりわずか時間で
はんぶんに入ってしまうからです。台風眼が観測
されな例はすくないようです。

1947年9月11〜20日大西洋のハリケーン観測中口絵
にかかけられたような二重眼を発見しました。いまのところ
すべて熱帯性低気圧はおそらくまず内側の眼が
発生し、まもなくその外側にいまでいられている眼がまた
つくられ、いかに内側の眼がきえてなくなるこ
ろかんせんな眼ができてあかるものとかんがえられ、この
ようなけいかは台風の発生のあるさまをしるうえ重要な
かぎをあたえるものではないかといわれています。



グロリア台風垂直断面模図



台風の予報

台風が一つのうちまきであることは、うずま自身には動力力はありません。地球をとりまく大気中には赤道と極との気温の差をおくするために大規模な大気の流れがあつて、これを環流といいます。この環流の一つである太平洋の大きな高気圧のまわりで吹いている右まきの流れのなかにできたうずまき、それが台風なのです。この右まきの流れは、平均では台風の進路の項でしめしたようですが、毎日毎日の状況を見ると、こまかい変化をしていますから、台風の進路もそのたびごとにちがいます。

台風があらわれたならば太平洋高気圧のまわりを流れる大きな気流を一般流といいますか、そのありさまをたしかめることが必要です。もし、その近い将来の変化のみをおしをつけることができれば、台風の進路も予測されるわけです。

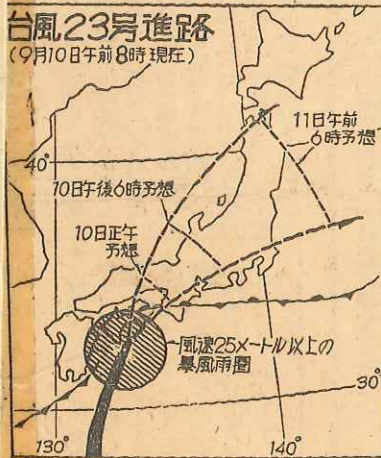
これは台風23号の新聞記事です。 20 21

三 宗 門

昭和40年(1965年)9月10日 (金)



台風23号で決壊した高知県土佐市新居の堤防



この最大最強の上陸台風23号は、十日午前八時半ごろ高知県安芸市に上陸、その後やや衰えながら、兵庫県に再上陸、近畿地方を斜断して日本海側の若狭湾付近を通過、北陸沿岸に沿って進む見通しとなった。

すでに高知をはじめ四国、近畿地域に被害を出しているがコースがはじめる予想よりも北に上ったため近畿、東海、関東などの太平洋沿岸部では午後から雨や風が強くなる。

一方、朝まで太平洋岸沿いにある

兵庫を斜めに北上 日本海沿岸に向かう

台風23号

四国に上陸、近畿へ

七七・一メートルの新記録

室戸岬での瞬間最大風速

【高知】室戸岬は台風23号の吹き返しの風が強く、室戸岬測候所は十日午前八時五十三分瞬間最大風速七七・一メートルを記録した。これは三十九年九月第一室戸台風のさいに同測候所の風速計が壊れたため推計した八四・五メートルに次ぐもので、公式記録としては日本で最高。

また同九時二十分には徳島地方気象台でも同気象台始まって以来という瞬間最大風速六七・五メートルを記録した。

【高知】室戸岬は台風23号の吹き返しの風が強く、室戸岬測候所は十日午前八時五十三分瞬間最大風速七七・一メートルを記録した。これは三十九年九月第一室戸台風のさいに同測候所の風速計が壊れたため推計した八四・五メートルに次ぐもので、公式記録としては日本で最高。

また同九時二十分には徳島地方気象台でも同気象台始まって以来という瞬間最大風速六七・五メートルを記録した。

【高知】室戸岬は台風23号の吹き返しの風が強く、室戸岬測候所は十日午前八時五十三分瞬間最大風速七七・一メートルを記録した。これは三十九年九月第一室戸台風のさいに同測候所の風速計が壊れたため推計した八四・五メートルに次ぐもので、公式記録としては日本で最高。

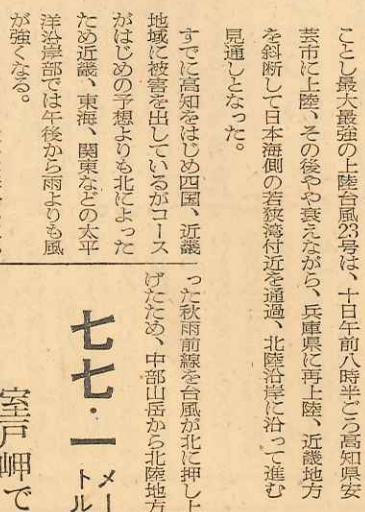
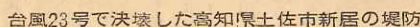
また同九時二十分には徳島地方気象台でも同気象台始まって以来という瞬間最大風速六七・五メートルを記録した。

豆 台 風

ふつうの台風にくらべて暴風半径のひしようにちいさい台風がありますこれを豆台風とよんでいます。が、このような台風のあることが発見されたのはひかく的さいきんのことです。ふつうの台風のはんいはおよそ500キロメートルから1000キロメートルくらいの直径ですが豆台風になると200キロメートル以内のちいさなものです。したがってこれが海上にあるときはなかなか発見されません。ことに内地に上陸するときはすくなく、1年に一回くらいといわれていますのでそのそんざいがかないあいだわからなかったのでしょう。豆台風の暴風半径はちいさいけれども中心のきん気圧のかたむきはふつうの台風よりもむしろおおきいくらいで風速も毎秒40メートル以上にたつことがすくなくありませんのでけつてかるがる

日本海沿岸に向かう

四国に上陸近畿へ



七七一
トルメ
の新記録

室戸岬での瞬間最大風速

【高知】室戸岬は台号第2号の吹
登返の風が強く、室戸御測候所
は日午前八時五十分、瞬間最大
風速七・一崙を記録した、これ
は三十六年九月第三番台風風のさ
い同測候所の風速計がわれ、またた
め推計した八四・五崙に次ぐもの
で、公式記録としては日本で最
高。

また同九時二十分には、薩島地方
気象でも同気象台始まっていら
しいという瞬間最大風速六七・五崙
を記録した。

県内にも注意報

に於ては局地的な大雨の心配が
増してゐる。とくに北陸地方は台
風の中心が内陸を通れば南方では
水の被害が、日本海に出る進ばば
フェーン現象による炎災のおそれ
が出るので、気象庁は今日いっ
ぱいこの方面には、水と火の防
災対策が必要だといつてゐる。

台風二十号は上陸直後、宮富で降
七十七・一（午前一時
五十分）平均六十七（同、時四
十分）の西南西風を記録した。こ
れは室戸測候所では開設以来的第
一位の観測値で、二百二十日
の上陸台風らしい規模を示した。
雨量は三重県尾鷲で正午までに三
百を越えたのがトップだが、高
土山頂レーダー観測だと、台風周
辺の雨雲は近畿地方のほとんどを
おおい、しだいに中部、北陸方面
に移動してゐる。午後から夕方に
かけ雨に見舞われるこれらの地方
は、一時間五公厘以上の雨が降る
と、局地的に出、ガクとすれの被
害が出やすくなるので、厳重注意が
必要。

山形地方気象台は十日午前十一時四十分、風雨波浪注意報をだした。台風23号の接近にともなつて果ては日午後から十一日朝にかけて風雨が強まり、最大風速は海上、山岳方面で二十五層から三十層、庄内地方は二十層から二十五層、内陸地方は十層から十五層くらいとなり、雨量は山岳方面で五十層から七十層、平野部で三十層から五十層に達する見込み。台風がもっとも接近するのは十日午後八時から夜半にかけてで風雨が一日間と強まるとの警戒が必要、短時間でも強い雨が降る予想という。

つて国鉄各線に被害が出るのよから予想されるので、十日午前七時三十分、本社に台風対策本部を設置したのをはじめ関西、中部、新幹線各支社にもそれぞれ対策本部を作した。

国鉄本社にはいつの連絡にとつて、東海道新幹線は午前九時半から強風のため全面的に運送を中止、各列車も運転を各駅でストップした。また大阪・天王寺鉄道警備隊管内の各線も全面運休、四国の上讃線が午前八時から急遽運転を中止した。

静かな安芸市上陸

静かな安芸市上陸

【高知】台風が上陸した芸芸市は午前八時ごろまで六、七級の強風雨だったが、同五分ごろからびたりと風雨が止まり、空も少し明るくなった。しかし目が通過のさい青空は見えなかった。町の中には意外に落ちて着いていた。

一人死に二人不明

徳島、高知に大きな被害

【徳島・高知】十日午前九時ごろ徳島県阿波郡阿波町西ノ阿、巖山山口浅夫さん（三）が台風のため倒壊、山口さんは家の下敷きとなって死亡した。山口さんはひと暮らし。

同日午前八時ごろ高知県幡多郡大月町小才角海岸で高波を見ていた同町 浜田幸三さん（三）が潮潮にのまれた。同町消防団員山本和明さん（三）が助けにいったが入とも波にのまれ行方不明になった。宿毛海上保安署の巡視船「るぎ」が捜索している。

高知全県下は同六時二十分ごろから暴風雨圏内にはいった。足摺峠では瞬間最大風速四十七メートル、三十分前後の強風雨となり、海上から高さ約三十メートルの断がいにある清水測候所足摺分室の屋根にまで高波がしんきを打ちあげはどで、県下の一部で堤防決壊や道路の浸水など被害が出ている。

高知県災害対策本部と県警本部

土佐清水市は同六時までに三九バの雨量を記録。市内の如く見で民家の一部が破壊、川に流失したのをはじめ、床下浸水六十戸の被害を出している。同市町では鋼鉄船成田丸(約二百バ)が高波のため座礁、宮戸市では同市推名駐在所が倒壊、船舶(二九バ)一隻が流失した。

中村市では中筋川ははんらん、国道五十六号線が約二百バ浸水、宿毛市山奈町では渡川が逆流して国道五十六号線の一部が浸水するなど、県下の電車、バス路線は始発から全面ストップ、小、中、高校も全部が休校した。

市新居海岸で高波のため高さ七呎の堤防が二カ所も約八十呎にわたって決壊、付近の民家約十戸が避難準備をした。

豆 台 風

い、ふうの台風にくらべて 暴

ちいさい台風が来ますこれ

か、このような台風のあること

人自的さいきんのことです。いふ、つ

約500キロメートルから1000-

ですが、豆台風になると

さなものでした。かってこれ

なかなか発見されません。

かいはすくなく、10年に一回人

そのそんざいがないかいあい

豆台風の暴風半径はちい

五のかたむきはふつう

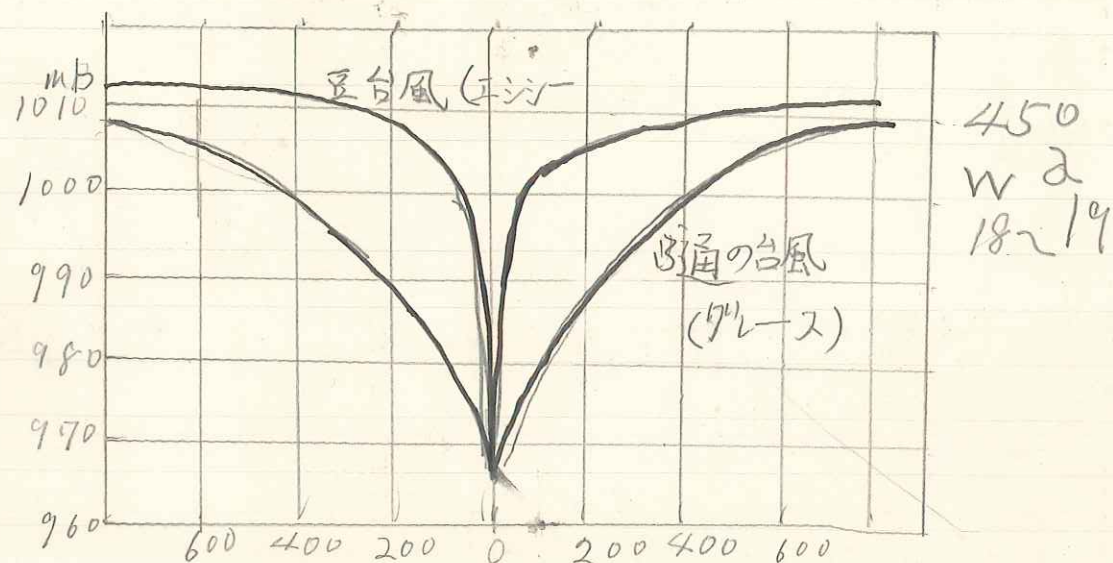
らいて 風速も毎秒

いすくなくありません

しくあつかえません。

南洋にはかなり島がおおいので熱帯性低気圧があればすぐ発見できるとながいあいたかんがえられていました。しかし直径200キロメートル以下の豆台風では観測のあみにひかかるきかいてもすくないわけで南洋に暴風きろくがすくないというたけのりゆうで発生初期の熱帯性低気圧がみんなよわいときめたのは、あやまりです

豆台風の中心附近の気圧けい度のひょう図



台風の進路

南洋の海で発生した台風のおおきは、発生してから西にすすみ、だいに北西にむきをかえ、およそ小笠原と沖縄をむす線のをきでしを北西から北をへて北東にかえます。このように転向するげんようは、みしょうにはっきりしていて台風の特長のひとつです。このような進路をとるのには台風が北太平洋のハワイやミッドウェイ島方面に中心をもおおきな高気圧の西側のりをすすむからです。それはちようとおおきな川の中の流れのなかでできたうずまきかせん回しなからませんのなかれにそってすすむように高気圧のせんとなかれにそってすすみます。しかし一部のものは発生のおと西にすすみ中国大陸に上陸してきえせるものや、北の南海をへて仏印、シム方面に上陸して消めつするもの

イルカ湾にでるものさへあります。

7月から10月へと秋がはるかまるにつれて転向点かいたんだん東に移動しているのは北太平洋高気圧の夏のあいだ西のほうにのびていた勢力がよめまり東の方に後退するからです。

いままではあらわれたいような進路をおおきくわけると

(i) 本州にきて転向するもの

(ii) 正(よう)な進路を西側にきやくにした型 これをきやくほうつ線型といいます。

(iii) 西日本を北西にまっすぐすすむもの

(iv) 日本の東方海上を北にすすむもの

(v) 一見でたらめのしるをとるもの これを迷走型といいます

(vi) ながいあいたおなじちいきにいたいす

450 W 20

3もの

台風の被害

台風による被害は本来の暴風の被害よりも雨による洪水や高しおの被害のほうがおおきいのですそれは、ちょうど地しんのはあい、しん重かのために家がつぶれた被害よりもつついておこる火災の被害よりも、つついておこる被害の方がはるかにおおきいのです。

台風被害のなかには、洪水のあとにおこる悪い病気のりゆうこうや、台風をつうか後のいじょうなだん気のためにおこるイネの白病など、かんせつてきな被害があるが一般にはなかなかちめいされていないので、寺田とら彦博士がむかし大災といものは人がめずれてしまったとこにおこるものですから、いまだんから天災にたいするそなえがた

いじであることを人々にとがれたことはゆめいなはず
 しです。また博士は昭和9年に京阪神地方をおそい
 かってなかったほど大きい室戸台風をまのあたりみて
 軍艦や飛行機をつくらせて軍事上の国防を強化す
 ることもひつようだが台風のような自然災害のお
 おい日本では台風観測もつをいっしょうしてきかくな
 予報をすることによって災害から国土をまもること
 がたいせつだ。といいました。 450 W 234

まとめ

- ① 台風は熱帯性低気圧の大きくなったものです。
- ② 台風の発生するところはカロリンマリア^{群島}の近海です。
- ③ 台風は夏から秋にかけて日本をおそいます。
- ④ 台風の中心部では強い風がふき大雨をふ
らせる。
- ⑤ 台風のおとあつたあとには大きな被害がある。
- ⑥ 今まで日本をおそった台風で一番大きいのは
室戸台風です。

反省

- ① もっと早くから研究を進めておくよかった。
- ② もっと字をきれいに書くとよかった。
- ③ あまり本にたよりすぎた。

自分でおもったこと

- ① どうして台風が陸地に上陸すると勢力がよわまるかふしぎに思った。

せわになった人-----おかあさん

さんこうにした本-----台風の話 450円

近年における台風の被害表

台 風		被害地	人的被害			建物被害			土木被害		
名 前	年 月 日		死者	傷者	行方不明	倒壊	流失	浸水	堤防決壊	道路決壊	橋梁流失
室戸台風	昭和9.9.21	四国・近畿	2,702	14,994	334	88,046	4,277	333,806	11,594	17,703	3,800
	10.9.20~25	関東	317	274	60	2,161	1244	109,153	932	1353	573
	12.9.11~12	西日本・奥羽	73	375	11	11,647	65	28,335	1,376	2,898	544
	16.7.22~25	関東・奥羽	66	15	32	611	428	213,767	533	590	538
	16.9.30 10.1	九州・四国・中国	108	169	102	6,002	490	106,519	540	1,937	420
	17.8.27~29	九州・四国・中国	891	1,438	267	99,769	2605	132,204	1,411	1,671	240
	18.9.20	九州・四国・中国	768	491	202	18,452	3,135	76,323	3,250	9,938	2,114
枕崎台風	20.9.10~18	西日本	2,076	2,329	1,046	113,438	2,546	217,326	2,714	3,447	1,973
阿久根台風	20.10.10~13	西日本	730	363	147	6,555	2,503	210,391	2,688	5,214	1,753
カスリン台風	22.9.14~15	関東	1,057	1,751	853	5,301	3,997	384,743	4,222	3,536	2,280
アイオン台風	23.9.16~17	関東・東北	512	1,952	326	16,683	1,322	118,358	4,803	3,025	3,175
デラ台風	24.6.21	九州・中国	252	368	217	5,612	103	60,388	905	2,583	624
キティ台風	24.9.31 9.1	関東・奥羽	138	499	25	14,448	315	178,566	1,026	3,082	498
シエーン台風	25.9.3	関西	336	10,930	172	54,667	1,432	166,605	917	2,751	627
キシンア台風	25.9.13	九州	35	75	8	4,651	185	121,924	2,181	3,416	426